

旭川市総合計画審議会 令和5年度第2回会議の記録

日時	令和5年5月26日（金）18時～19時47分
場所	旭川市7条通10丁目 旭川市役所第二庁舎3階 問診指導室
出席者	委員14名 小野委員，柏葉委員，木曾委員，熊谷委員，桑野委員， 佐竹（利）委員，佐藤委員，塩川委員，滝山委員，中川委員， 中村委員，西田委員，古田委員，吉見委員
欠席者	岡田委員，片岡委員，河上委員，佐竹（明）委員，篠田委員， 清水委員，仁木委員，畑山委員
会議の公開・非公開	公開
傍聴の数	0名
会議資料	次第 資料1 第8次旭川市総合計画基本計画見直しの考え方（素案） 資料2 第8次旭川市総合計画進捗状況報告書（素案） 資料3 第8次旭川市総合計画基本計画見直しの考え方（素案），第 8次旭川市総合計画進捗状況報告書（素案），第8次旭川市 総合計画基本計画【改定版】対応表 資料4 「第8次旭川市総合計画基本計画見直しの考え方（素案）」 に対する旭川市総合計画審議会令和5年度第1回会議から の意見について 資料5 旭川市総合計画審議会 令和5年度第1回会議の記録
会議内容	
1 開会	
2 議事録の確認	
事務局	（前回の議事録について説明。）
3 議事	
「第8次旭川市総合計画基本計画見直しの考え方（素案）」について	
会長	本日の会議は，前回に引き続き，「第8次旭川市総合計画基本計画見直しの 考え方（素案）」について，委員の皆様の意見を伺うこととなる。 まず，本日の会議の進め方や前回いただいた意見の取扱いなどについて， 事務局から，説明を受けたいと思う。
事務局	（資料4に基づき，説明）
会長	只今，事務局から説明があったが，質問等はないか。 それでは，資料1「第8次旭川市総合計画基本計画見直しの考え方（素 案）」をもとに，事務局から概要の説明を受けて，皆様からの意見を伺いた

	<p>いと思う。</p> <p>前回の会議においては、3（2）オまで、意見をいただきましたので、本日は、「カ デザイン創造都市の取組の推進」から、順次、意見を伺いたいと思う。</p> <p>では、事務局から、説明願う。</p>
カ デザイン創造都市の取組の推進	
事務局	(項目の趣旨などについて、簡単に説明)
会長	では、「カ デザイン創造都市の取組の推進」について、意見等はないか。
委員	多くの市民が、デザインは自分には関係ないと思っているのではないかと推測される。なぜデザイン都市、デザイン創造都市と言っているのか、その意義であったり、そもそもの目的だったりを、もう少し具体的に説明していただくと良いのかなと感じた。
委員	<p>旭川デザインウィークに参加し、夢をデザインするといった感じで、未来を考えるようなことも、デザインに含まれるという認識が生まれた。</p> <p>そうした認識を持ち、今後も進めていただければ、市全体が活性化されるのではないかと思う。</p>
委員	デザイン創造都市の取組や様々なイベント等々を行うことは非常に良いことだが、都市のデザインのあるべき姿を論ずる委員会や協議会を設定すべきではないか。
委員	デザイン創造都市として、景観色(カラーガイド・旭川)など、過去に作成したものにも目を向けて、活用できるものは活用していく流れが出来たら良いと思う。
委員	地元のすべての企業を活かすような形で、まちを元気に、より良くしていくことを、デザインして、考えていってほしい。
副会長	デザイン創造都市の市役所内の窓口はどこか。
事務局	旭川デザインウィークについては、現在、経済部が窓口となっているが、経済だけではなく、他の行政課題に対してもデザイン思考で解決を図るることについて、CDPのアドバイスを受ける考えである。御意見をいただいているような、まち全体のデザインについては、今後に向けて更なる整理が必要と考えている。
会長	では、こちらについては、出された意見を踏まえて事務局で再検討願う。次に、「キ 除排雪体制の充実強化」について、事務局から説明願う。
キ 除排雪体制の充実強化	
事務局	(項目の趣旨などについて、簡単に説明)
会長	では、「キ 除排雪体制の充実強化」について、意見等はないか。
委員	以前との比較でしかないが、実に良くやってくれていると思っている。

	現在の体制を維持してもらいたい。
副会長	地区除雪連絡協議会で受けた説明によれば、人材とともにオペレーターの技術が不足しているとのことであり、当面は、そちらの支援、対策に力を入れてもらえれば、よりきれいに除排雪を行ってもらえると思う。
委員	道路の除雪は行き届いて来ていると思うが、高齢者住宅や空き家の除雪の補助的なことを少し考えてもらいたい。
委員	なり手不足や予算の問題があり、今の除雪体制が持続可能なのか、若干疑問を感じている。きれいに除雪を行ってもらうことに越したことはないが、もう少し我々市民もおおらかになり、除雪業者への感謝の気持ちを持ち、やってもらって当たり前という感覚を少し見直さないと、10年後、20年後の旭川を考えたときに、これだけの除雪体制を維持することは難しいのではないかと思う。
会長	副会長、技術不足との話があったが、除排雪をどの程度までといった希望があるか。
副会長	これだけやれば絶対ということはないが、希望としては、少しでも市民のためになるような除排雪が良く、救急車などの緊急車両が通れる程度が基準になると思っている。
委員	除雪については、市民生活が遅滞なく送れば良く、現在は、遅滞なく送れていると思う。 他方で、社会福祉協議会で行っている除雪の援助を行う制度があり、援助をしてくれる方を募集してもなり手がいない実態がある。除排雪のオペレーターについても同様であり、社会的に人材が枯渇しており、高齢者住宅等の除雪を行いたくともできない現状についても理解願いたい。
会長	では、こちらについては、出された意見を踏まえて事務局で再検討願う。 次に、「ク ゼロカーボンシティへの取組の推進」について、事務局から説明願う。
ク ゼロカーボンシティへの取組の推進	
事務局	(項目の趣旨などについて、簡単に説明)
会長	では、「ク ゼロカーボンシティへの取組の推進」について、意見等はないか。
委員	SDGsの観点から、本市においてもカーボンニュートラルを推進すべきだが、冬の暖房使用や、二酸化炭素排出量を抑えた車の普及が進んでいない現状があり、この旭川の地では至難の業だと思う。 この部分をどのくらいまでに抑制したいという、具体的にカーボンニュートラルに到達するための指標を持ってもらいたい。
会長	では、こちらについては、出された意見を踏まえて事務局で再検討願う。

	次に、「ケ 女性活躍の推進」について、事務局から説明願う。
ケ 女性活躍の推進	
事務局	(項目の趣旨などについて、簡単に説明)
会長	では、「ケ 女性活躍の推進」について、意見等はないか。
委員	旭川市の女性の部長職の割合は。
事務局	33人中、4人である。
委員	せっかく市で女性活躍推進部を設置し、市議会においても今回の選挙で女性議員が増えたが、まだまだだと思うので御考慮願う。
副会長	女性議員が10名に増えたので、市民の声を吸い上げ、女性が活躍できる施策等を議会で審議してもらうことが一番ではないか。
委員	女性に限らず、男性も活躍できる環境が、高校や大学を卒業した後にあまりないのが現状である。元気な企業や、魅力的な仕事が出てくればというところが一番の大きな問題だと思う。 女性活躍社会は、今ある組織に女性を増やすということもあるが、女性の職場をいかに皆で盛り上げるか、あるいは作り上げていくかだと思う。やはり若者が残りたくなるようなまちにしていくことが第一で、その中で女性もリーダーシップを持てる人をいかに育てるかが大事なのかなと思う。
委員	福祉業界は、昔、女性が多かったが、今は女性を上回るほど男性が多くなった。女性だから、男性だからというセクシャリティではなく、生き活きと働ける職場で、目指せるものがあれば、私は、誰がなっても良いと思う。 セクシャリティに関係なく、様々な人を旭川市として受け入れて、色々な人が社会に進出していただければと思う。
委員	女性の活躍の前に、「人」が活躍することが大事ではないかと考える。
委員	今必要なことは、子どもはお互い、家で育てましょうという環境づくりが絶対に必要だと思う。 家庭そのものにフォーカスし、男女問わず、置かれた環境そのものを理解し、皆でサポート、カバーできる社会をつくることができれば、安心して働け、子どもを産み、子育てができ、女性はもっと活躍できると思う。
委員	ドコモの位置情報サービスで旭川駅前を見ると、札幌やほかの都市に比べても15～29歳の女性がとても多い。様々な理由があると思うが、女性がそこに多く集まっていることには何か意味があるだろうし、ある意味、そこで多くの女性が活躍しているということだと思うので、分析をしてもらって、女性活躍の推進に活かしてもらいたいと思う。
会長	では、こちらについては、出された意見を踏まえて事務局で再検討願う。

	次に、「コ 多様な性への配慮，パートナーシップ制度の導入」について，事務局から説明願う。
コ 多様な性への配慮，パートナーシップ制度の導入	
事務局	(項目の趣旨などについて，簡単に説明)
会長	では、「コ 多様な性への配慮，パートナーシップ制度の導入」について，意見等はないか。
委員	性的マイノリティという言葉自体が，私は物心が付いた頃から認知しているので，教科書などで学習することに違和感を覚える。わざわざ強調せずとも，これから育っていく世代は，自然と認知していくと思うので，人が生きていく中での普通の感覚として，取り込みやすいような教育方法や発信方法があれば，違和感なく吸収していけるのかなと思う。
委員	学生を見ていると，大人が思うほど，気にせず上手に付き合っているのはすごく分かる。そのため，確かにそうした言葉を前面に出し，そうしなければならない，というのは何となく違和感を感じる。
委員	パートナーシップ制度の導入の目途は，なぜ令和6年1月なのか。
事務局	制度の導入検討を始めたのが，令和5年1月ぐらいであり，他自治体の先行事例などを参考に，意見聴取手続きなどで1年程度の時間を見込み，令和6年1月を目途としている。
会長	では，こちらについては，出された意見を踏まえて事務局で再検討願う。次に、「サ DXの推進」について，事務局から説明願う。
サ DXの推進	
事務局	(項目の趣旨などについて，簡単に説明)
会長	では、「サ DXの推進」について，意見等はないか。
委員	これから各業界がDX，ICT化を進めていくためにはお金がかかる。各企業が自己資金を使って進めるのでは後手後手に回るので，状況に応じ，迅速に対応可能な補助や助成が絶対に必要だと思う。
委員	DXの目的は，情報機器を導入することにより人手がかからなくなり，その人に別のところで活躍してもらおうということや，今まで必要だった人手がいらなくなるということもあると思う。 旭川市が進めるDXは，何を効率化し，どこの部分に新しいものを生み出すための人材を配置するかなど，どこに到達するために進めるのか考え方があって良いと思う。例えば補助金を出さなくても，そのようなイメージがあると出しやすいのかもしれない。
委員	前提としてDXの知識や理解能力を上げなければ意味がなく，総合的にどのようなDXを目指し，そのためにこのツールを導入したり，こうしたことを行うといったことを，クリアにオープンに自治体として出してほし

	<p>いと思う。</p> <p>また、まち全体のデジタルリテラシーといったものが低いと感じるので、市民のデジタル技術に対する知識や理解能力をどうしたら上げられるのかといった教育的な側面を、先ほどの意見にもあった補助制度も含めて、何か底上げしてもらえると、まち全体のデジタル化が進むのかなと思う。</p>
委員	<p>DXは「デジタル・トランスフォーメーション」なので、デジタルによる変革と理解している。</p> <p>旭川市の進めているDXについて、すべてを確認しているわけではないが、何となく、IT化、デジタル化の改善レベルに留まっているという気がする。</p> <p>旭川は本当にどうあるべきか、どんなまちにしたいのかがあってこそそのDXだと思うので、変革しているところまでを意識してもらいたい。また、たぶん、旭川市のDXは、市役所内のDXもあるし、市民のDXや、企業のDX支援という側面もあると思うので、そうしたところも対象であるということを加えられると市民にも分かりやすいのではないかなと思う。</p>
副会長	<p>広報あさひばし3月号に「DX・伝える広報」という内容が掲載されているが、先の目標ではなく、市役所の中の改革しか書いていない。やはり目的がないと、どのようにしたいのか明確にしてほしいと私も思う。</p>
委員	<p>進捗状況報告書（素案）の76ページ、見直しの要素の目標像において、「DXの推進に関する記載の追加についての検討」との記載があるので、本日、検討された内容がキーワードとして入っていけば良いのかなと思う。</p> <p>便利な市政運営は、大事なところなので、まずは行政としてDXを推進してもらいたい。</p> <p>市内企業のDX化をどう支援できるかも非常に大きいと思うし、市民の認識を深めることも含め、どのような目標を立てていくべきなのか考えていたが、住民の立場、企業の立場、行政というところを整理しながら、互いに便利に、またそれを通じて何かを生み出していくためには何を目標せるのかを引き続き議論出来たら良いかなと思う。</p>
会長	<p>では、こちらについては、出された意見を踏まえて事務局で再検討願う。</p> <p>次に、基本計画全体に関わる項目について、意見を伺いたいと思う。</p> <p>基本計画全体に関わる項目のうち、</p> <p>3の「(1) 都市像の実現に向けての重点テーマ」と</p> <p>「(3) 都市づくりの基本方策」については、</p> <p>いずれも各基本政策を横断的に捉えた項目であるので、まとめて説明を受けたいと思う。</p> <p>事務局から説明願う。</p>

3 (1) 都市像の実現に向けての重点テーマ, (3) 都市づくりの基本方策	
事務局	(項目の趣旨などについて, 簡単に説明)
会長	では, 3の「(1) 都市像の実現に向けての重点テーマ」, 「(3) 都市づくりの基本方策」について, 意見等はないか。
委員	<p>都市計画マスタープランなどの計画は, 10年後, 20年後, 人口が減少したときに都市構造がどう変わっていくのか, 構成員がどう変わっていくのかを見据えて策定すべきであり, 現計画はベストなものではない。</p> <p>公共交通網形成計画については, バスのみの記載であり, 交通モードを明示していない。バス停までに来れない人にどういった手当をするのかというところまでを考えて, 今後の計画を立てるべきであると思う。</p> <p>タイミングを逃さず, 方針方策を立て, それに向かって行政, 事業者が取り組む都市づくりが絶対に必要だと思う。</p>
委員	第8次旭川市総合計画基本計画【改定版】27ページ, 基本目標4, 基本政策10の施策1に「危機対応力の強化」という項目があり, 主に災害のことが記載されているが, 感染症の要素も追加してはどうか。
委員	<p>交通網について, バスやタクシーなどの利便性向上は, 企業努力だけでは限界があり, 計画をただ作るのではなく, 事業者も, 安く移動したい気持ちがある消費者も, 互いに納得でき, 使いやすく, いつでも使える交通網を全体で考え, 取り組まなければならないと思う。</p> <p>少なくとも, 今, 高校生が通学するのにバスの本数が減って困っている。</p>
委員	近隣の人口規模の少ない小規模自治体では, オンデマンドタクシーや, 病院の受診を予約制で乗り合わせで行く取組が進められているが, 旭川市でも西神楽地区など医療施設のない地域は困っているという声も聞くので, 何かモデル的な取組を交通機関と連携してできないのかと思う。
事務局	<p>今, 東旭川地区において, デマンド交通を行っている。</p> <p>交通の話が出たが, 今年度, 公共交通網形成計画を見直そうとしている。現在の公共交通網形成計画の中でも, 今の状況や10年後, 20年後がどうなっているか記載しているが, それは当時の考え方であることから, 今年度, 新たに見直す。</p> <p>委員から指摘があるように, 計画だけができていて, それが活用されなければ計画として意味をなさず, 利用者にとって, 使いやすく, 利用しやすいということも重要な要素だと思っている。</p>
委員	地域性を踏まえ, その地域の交通モードを明確すべきであり, そうしなければ事業者が右往左往することになる。市が主体性, 責任感を持って取り組んでもらいたい。
事務局	公共交通の担当部にしっかりと伝えていく。

委員	<p>地域コミュニティがどうやって形成されていくのか、もう少し話されてもいいのではないかと考えている。町内会員や民生委員児童委員について記載があるが、もう少しソフトな面におけるコミュニティを、自治体がフォローしていても良いのではないか。</p> <p>これからweb 3.0（ウェブスリー）の時代となるときに、人々が心の面でどうつながり、このまちに住んで良かった、このまちでこういうことをやってみたいと思っていけるようなコミュニティづくりをどうやって考えていけるのか、もう少し考えられるのではないかと思う。</p>
委員	<p>重点テーマに「こども」と書かれているが、大人目線の施策しかない。幼少時に遊ぶ体験が失われ、人との関係が希薄になると、地元に戻ってくる機会は少なくなると思うので、今の子どもたちが何が楽しいのか色々意見を聞いて、子どもが楽しく過ごすという施策を重点テーマに入れて欲しい。</p>
委員	<p>旭川だけの問題ではないが、今、子どもが自発的に何か楽しめることがないと思う。</p> <p>少ない子どもを大切に育てると、大人が管理することになる。そのあたりのバランスを取れるような何かあると良い。</p> <p>やはり子ども目線というのが大事であり、子どもがずっとこのまちにいたいと思えるような取組が何かあると思う。</p>
会長	<p>では、こちらについては、出された意見を踏まえて事務局で再検討願う。</p> <p>次に、3の「(4) その他見直しに係る検討要素」の「ア 行財政改革推進プログラムとの連動」について、事務局から説明願う。</p>
3 (4) その他の見直しに係る検討要素 ア 行財政改革推進プログラムとの連動	
事務局	(項目の趣旨などについて、簡単に説明)
会長	では、3の「(4) その他見直しに係る検討要素」の「ア 行財政改革推進プログラムとの連動」について、意見等はないか。
委員	旭川市の財政状況について、同規模の雪が降らない自治体に比べ、はるかに経費がかかっていると思うが、そうしたことを加味したものか。
事務局	<p>除雪費用や施設の光熱水費等に係る経費については、普通交付税で措置されているとされているが、十分ではないし、それを加味しても財政状況はなお低い状況と考えている。</p> <p>財政力指数や財政調整基金残高も全国の中核市の中でも下位となっている。</p>
委員	ふるさと納税でかなり儲かっている自治体もある。魅力あるコンテンツを作り、発信していくことが大事だと思う。ふるさと納税を抜本的に見直してみてもどうか。

	<p>企業が納付する税金やたばこ税といった収入を確保するためにも、企業へ支援を行い、生産性を上げていくという考え方も1つある。</p> <p>財政状況が悪いからといって、縮小した考え方をしないでほしい。</p>
委員	<p>これから自治体もマーケティングしていくべきだと思う。</p> <p>できれば市民の税金は下げられると良いと思うし、企業から税金を取る場合はその企業が潤うように自治体はどのようにバックアップするのかや、学生たちが市外に流出していかない産業構造をどうつくっていくのか。また、企業誘致も含め、外部の人たちを招き入れ、経済を回していくのかということをしっかりと考えられると、財政状況も変わってくるのかなと思う。</p>
委員	<p>優秀な市職員が多くいると思うので、アイデアや人脈の提供等、地域の企業に積極的に関与してと良いのではないかなと思う。</p>
会長	<p>では、こちらについては、出された意見を踏まえて事務局で再検討願う。それでは、最後に、改めて全体を通しての意見を伺いたいと思う。</p> <p>全体を通して、意見、質問はあるか。</p>
委員	(特になし)
会長	<p>意見がないようなので、本日、いただいた意見の取扱いや、第8次旭川市総合計画基本計画の見直しの今後の流れなどについて、事務局から説明願う。</p>
事務局	<p>前回の会議と本日の会議において、委員の皆様には、様々な意見をいただいたところだが、「第8次旭川市総合計画基本計画見直しの考え方(素案)」について意見をいただくのは、本日で最後となる。</p> <p>本日、いただいた意見については、前回いただいた意見と同様、本日、お配りした資料4の主な意見のように、意見の内容とその取扱いを整理させていただくが、その最終的な整理については、会長と事務局に一任させていただきたいと思うので、委員の皆様のご理解をよろしくお願いしたい。</p> <p>今後、庁内でも再整理の上、「見直しの考え方」と「進捗状況報告書」を完成させ、完成後、委員の皆様にもお配りするとともに、議会にも報告し、市民の皆様にもホームページへの掲載をもって公表したいと考えている。</p>
4 次回の審議会について	
会長	<p>只今、説明があったとおり、「第8次旭川市総合計画基本計画見直しの考え方(素案)」についての開催は、本日で終了し、いただいた意見の整理については、私と事務局に一任させていただく。</p> <p>それでは、「次回の審議会について」事務局から説明願う。</p>
事務局	<p>次回の審議会については、これまでの皆様の意見を踏まえて作成する、第8次旭川市総合計画の基本計画の改定案を審議していただきたいと考え</p>

	ている。 時期については、8～9月頃を予定しており、近くなったら、再度、日程の調整をさせていただきたいと考えている。
5 閉会	
会長	それでは、本日の会議はこれで終了する。